

報道各位

FAX送信枚数 枚(この用紙を含む)

「第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦」の試合結果をお知らせいたします。

報道をよろしくお願ひします。

【本件に関するお問合せ先】		
第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦		
実行委員長 石野 雄三		
TEL・FAX	榎野ホッケー場	親里ホッケー場
携帯 080-6734-8842	TEL/FAX:075-721-1135	TEL/FAX:0743-67-0247

第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦

第 1 日

開催日時 6 月 30 日 (木) 会場 榎野ホッケー場 天候 晴れ

【試合結果】

<女子>

第1試合 10:00	聖泉大学	3	$\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$	2	駿河台大学
第2試合 11:40	慶応義塾大学	0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$	3	東京農業大学
<男子>					
第3試合 13:20	東京農業大学生物産業学部大学	0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 4 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$	5	明治大学
第4試合 15:00	関西学院大学	4	$\begin{pmatrix} 1 & - & 4 \\ 3 & - & 1 \end{pmatrix}$	5	法政大学

【試合の結果・詳細】

第1試合

聖泉大学 3 $\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 駿河台大学

得点	聖泉→13分吉備千枝子、39分草野里奈、64分草野里奈 駿河台→6分元井沙希、60分千葉由加里		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦第1日 聖泉大学 対 駿河台大学 の試合。夏の日差しが強く照りつける中、聖泉大学のセンターパスにより試合が開始された。序盤、駿河台大学がボールを支配し攻め込むがシュートまで持ち込めない。しかし、6分駿河台大学10番元井が自ら持ち込み先制点を決める。その後、両チーム攻防を繰り返すが、13分聖泉大学27番吉備が正確なパスワークから同点弾を決める。給水タイムを挟み、お互いにカウンター攻撃が多くなる。25分駿河台大学10番のパスからチャンスを作るが決めきれず、前半が終了。後半、駿河台大学のセンターパスで開始される。39分聖泉大学10番草野が打ち込みをタッチで決め逆転する。その後は、両チームともに一歩も譲らない。しかし、60分駿河台大学18番千葉がタッチで決め同点となる。64分聖泉大学10番草野が再び逆転ゴールを決め、聖泉		
テクニカルオフィサー ジャッジ	長田 和雄 小西 典子	アンパイア	児玉 茂樹 石橋 徹也

第2試合

慶応義塾大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$ 3 東京農業大学

得点	東京農業→27分川又美咲、44分川又美咲、61分有野美春		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦第1日 第2試合 慶応義塾大学 対 東京農業大学の試合。夏の日差しが強く照りつける中、慶応義塾大学のセンターパスにより試合が開始された。序盤から中盤でのボールの競り合いが続く。東京農業大学の細かいパスワークと慶応義塾大学の粘り強いDFがぶつかり合う好試合。前半の給水タイムを挟み、25分東京農業大学がPCを獲得しチャンスを作り出す。3度PCが続く、27分東京農業大学13番川又がヒットでシュートを放ち先制点を決めた。後半、東京農業大学のセンターパスにより開始された。序盤から慶応義塾大学が攻め込むシーンが増える。しかし、44分東京農業大学13番川又が再びPCから得点し追加点を決めた。61分東京農業大学3番有野がダメ押し1点を決め、終わってみれば0-3で東京農業大学の勝利となった。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	清水 恭子 大橋 守	アンパイア	樋口 修 谷川 昌子

第3試合

東京農業大学生物産業学部 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 4 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$ 5 明治大学

得点	明治大学→5分岡崎、16分若槻、30分若槻、30分辻谷、40分若槻		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦第1日 第3試合 男子1回戦 東京農業大学生物産業学部 対 明治大学 の試合。夏の日差しが強く照りつける中、東京農業大学生産学部センターパスにより試合が開始された。序盤から明治大学のペースで試合が進む。明治大学は5分PCを獲得し明治大学20番岡崎がフリックを右隅に決め0-1とし明治が先制する。そして16分明治はブッシュで明治大学9番若槻がブッシュを決め2-0となる。30分明治大学3番辻谷のドリブル突破によるチャンスにより明治大学22番市橋がタッチシュートをきめ3-0となる。立て続けに明治大学の3番辻谷が再び決め4-0となる。後半明治大学のセンターパスにより始まる。40分に明治大学は7番小櫻の強烈なクロスに9番若槻がタッチし5-0とする。このまま明治大学がテクニクを見せて5-0とし試合は終わった。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	長田 和雄 大橋 守	アンパイア	中元 大輔 石橋 徹也

第4試合

関西学院大学 4 $\begin{pmatrix} 1 & - & 4 \\ 3 & - & 1 \end{pmatrix}$ 5 法政大学

得点	関西学院大学→10分大西、12分中島、54分杉内、55分杉内 法政大学→7分遠藤、8分野村、18分小島、53分小島、59分福島		
戦評	第30回全日本大学ホッケー王座決定戦第1日 第4試合男子1回戦関西学院大学対法政大学の試合。夏の日差しが照りつける中、関西学院大学のセンターパスにより試合が開催されました。序盤から両チームともハイプレスをかけ得点を取ろうとする。前半7分法政がPCをえてこれを法政大学12番遠藤がきっちり決め先制する。立て続けに8分パスカットから法政大学の野村がシュートを決め2-0とする。このまま流れは法政大学かと思われたが、10分関西学院大学の10番大西が華麗なパスワークからのシュートを決める。2-1とする。その後法政ペースで18分PCを得て法政大学5番小島がフリックを決め3-1となる。そしてまた法政大学は18分に再びPCを得て5番小島が決め4-1とする。後半は法政大学のセンターパスにより開始された。47分に関西学院大学がPCを得て関西学院8番中島がフリックを決め4-		
テクニカルオフィサー ジャッジ	清水 恭子 小西 典子	アンパイア	児玉 茂樹 樋口 修

報道各位

FAX送信枚数 枚(この用紙を含む)

「第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦」の試合結果をお知らせいたします。

報道をよろしくお願ひします。

【本件に関するお問合せ先】		
第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦		
実行委員長 石野 雄三		
TEL・FAX	栲野ホッケー場	親里ホッケー場
携帯 080-6734-8842	TEL/FAX:075-721-1135	TEL/FAX:0743-67-0247

第30回全日本大学王座決定戦・東西交流戦

第 1 日

開催日時 6 月 30 日 (木) 会場 栲野ホッケー場 天候 くもり

【試合結果】

<女子>

第1試合 10:00	同志社大学	7	$\begin{pmatrix} 5 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	北海道大学
第2試合 11:40	早稲田大学	1	$\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$	1	富士大学
<男子>					
第3試合 13:20	東海学院大学	4	$\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 3 & - & 1 \end{pmatrix}$	2	慶応義塾大学
第4試合 15:00	富士大学	5	$\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 4 & - & 0 \end{pmatrix}$	1	東京農業大学

【試合の結果・詳細】

第1試合

同志社大学 7 $\left(\begin{array}{cc} 5 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{array} \right)$ 0 北海道大学
 東海・関西プレーオフ 北海道代表

得点	同志社大学→14分松本 16分松本 19分千速 28分稲本 34分宮里 57分稲本 70分降幡 北海道大学→		
戦評	前半開始とともに同志社大学が良い立ち上がりからサークル内にボールを運び、高い位置でプレスを仕掛ける。焦った北海道大学のクリアミス拾いPCを立て続けに奪うもののこのピンチを北海道大学のGKが好セーブを連発しゴールを割らせない。北海道大学もバスケからカウンターを仕掛けるが中盤で止められてしまう。同志社大学はその後何度もシュートチャンスを作り14分に2右側からの打ち込みを3番松本選手がタッチで決めて先制する。同志社大学がその後も3点を決め、前半終了間際には中盤からのパスを10番宮里選手がヒットで得点する。 後半は北海道大学も相手陣地でボールをキープし始め中盤での攻防が続くが15分過ぎから同志社大学が再び試合を動かし、57分に8番の稲本選手が得点し試合を決定付ける。フォーンが鳴る直前に同志社が最後の一点を駄目押しし、7対0で勝利した。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	中村 康夫 平沢 義由紀	アンパイア	白鳥 学 佐藤 幾久

第2試合

早稲田大学 1 $\left(\begin{array}{cc} 1 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \end{array} \right)$ 1 富士大学
 関東第3代表 東北・北信越代表
 102×304×506×6× 3 $\left(\begin{array}{c} PS \end{array} \right)$ 4 1×2×3040506×70

得点	早稲田大学→19分青山 PS末森 中道 高城 富士大学→15分小門 PS遠藤芽衣 小門 鄭 鄭		
戦評	前半は両チームともにゴール前まで切り込むが、15分に富士大学の6番小門選手がこぼれ球を押し込み先制する。早稲田大学も負けじと押し戻し、19分に7番の青山選手が見事なタッチシュートで取り返す。それからはサークル外で牽制しあう緊迫した流れが続き、PCを取ることも無く前半が終了した。ハーフタイムに降り出した雨とそれに伴う雷のせいで6分ほど後半開始が遅れた。後半も両チームゴール前での決定打に欠き互角の勝負が続く。20分過ぎから雷がひどくなったため1時中断となるが5分ほどで再開された。再開後すぐに富士大学がPCを奪うが、ヒットをDFに止められてしまう。さらに14番福家選手のドリブル突破からゴールを狙うがレバーヒットが枠を超点にはならない。結果1対1の均衡は崩れることなくPS戦となり、GKの遠藤選手の堅守が光った富士大学が4対3で勝利した。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	今庄 充世 松下 正寿	アンパイア	中込 真里奈 長谷部 健二

第3試合

東海学院大学 4 $\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 3 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 慶応義塾大学
 東海・関西プレーオフ 関東第2代表

得点	東海学院大学→32分井島 49分木田 60分内田 68分池辺 慶応義塾大学→26分紺田 57分岡田		
戦評	慶応義塾大学はDFからのロングパスからの挟りこみ、東海学院大学は巧みなドリブルと細かいパスでリズムを作る。双方スクープを多用した華麗な展開で主導権を奪いあい、慶応義塾大学の9番紺田選手が中盤からのパスをフロントラップでゴールに流し込み先制点を決めた。1点を追う形となった東海学院大学は何度かサークル内でチャンスをつかむも、慶応の堅いDFを崩せない。しかし32分にPCからのフリックシュートを押し込み同点に戻して前半終了となった。 後半14分に東海学院大学がPCを落ち着いて決めリードし優位になると思われたが、慶応義塾が22分に左サイドからの打ち込みを走り込みながらタッチシュートで入れて再び同点になる。両者カードが出る白熱した試合となるなか、東海学院がサークルトップでフリーの状態からヒットを押し込み再び均衡を崩す。さらに終了直前に東海学院がパスワークで中央を突破しこぼれ球を押し込んで差を広げ4対2で勝利した。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	中村 康夫 平沢 美由紀	アンパイア	小原 直也 木下 英貴

第4試合

富士大学 5 $\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 4 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 東京農業大学
 東北・北信越代表 関東第5代表

得点	富士大学→15分太田代 東京農業大学→17分浅見 36分山口 44分大田 54分三浦選手 60分吉村		
戦評	試合開始から東京農業大学がゴール前で何度もチャンスを作るが決め切れず、逆にPCを取られ先制される。その後17分にロングコーナーからのこぼれ球を東京農業大学の7番浅見選手が押し込み同点とする。前半はその後東京農業大学がやや優勢な中で、互いのミスについてボールを奪い合うが得点には至らない。後半開始後いきなり東京農業大学の2番山口選手がエンドラインぎりぎりからのボールを滑り込みながらのシュートで押し込み、10分にも10番大田選手がPCからフリックで得点する。その後立て続けに2点を決め完全にゲームを支配し富士大学を寄せ付けない。富士大学は試合最後の1分にPCを奪うもののシュートにつながらずそのまま5対1で試合終了となった。		
テクニカルオフィサー ジャッジ	今庄 充世 松下 正寿	アンパイア	松島 孝治 下平 歩美